



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8 FGLビル大阪 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130
 ホームページ <http://nalc.jp> **毎月1回 10日発行**
 Eメール編集室...kaiho@nalc.jp

昨年総会以降の動きと審議の結果 組織改革案大枠でまとまる

昨年度の総会で高畑会長より将来のナルクの進むべき方向について4項目について方針が示された。その後「組織改革委員会」が設置され、あらゆる方向からこれが検討され、理事会を経て5月25日の本年の総会で報告された。経緯、概要は以下の通りである。

昨年度の総会で提起された4項目とは
 (1) 地域で「新たな認証NPO法人」を立ち上げ、地元からより強く認知され、今以上に地域と密着する活動を幅広く実施
 (2) 介護保険法改正地域包括ケアへの対応(行政、地域諸団体との連携・連動が必要)
 (3) 全国共通ルールの持続
 (4) 「認定NPO法人」取得への方向づけ

以上の4つであった。総会で承認を受けて「組織改革委員会」を立ち上げ、2度の委員会を開催した。

第1回委員会は6月22日に開催され、組織改革の狙い、組織改革の説明、組織改革の課題の抽出と今後の進め方について議論した。ワーキンググループ(WG)を設けて、種々の課題を検討し、功罪について協議をした。WGのまとめを踏まえて第2回委員会は9月25日に開催され改革を進めるべきとしたが、多くの課題が残る、その後10月27日開催の理事会に向けて議論を深め、「改革案(A)(B)」を作成した。AB両案を詳しく説明すると

(A案) 新時代に対応する新たな組織を目指す
 1. 協議会体制

(B案) 現状の組織体制を維持し、より強く持続性のあるナルクを目指す
 1. 拠点組織の活性化
 2. 地域ブロック強化
 3. 研修会の開催
 4. 両案共に改革の基本的な考え方は組織の持続的な存続
 ① より強い組織の樹立
 ② ナルク理念の徹底・確認・継承
 ③ 地域に密着し、地域に貢献
 ④ 改革の目標は、両



季の輝き

初夏の花の水蓮

写真・岩井惇

とが期待され、新法の運営にとってメリットになる
 改革のデメリット
 (一) 新法人の考え方により、ナルクの基盤から逸脱する可能性
 (二) 新法人が税金を支払う必要が出てくる(組織全体として外部支出が増加)
 (三) 拠点運営において全国組織でなくないため、拠点としての信用が低下
 (四) 新法人は行政への届け出、申告、納税等の会計業務が増加する
 (五) 新法人ごとに税理士・公認会計士が必要
 これを踏まえ組織改革委員会並びに理事会において議論がなされ、特に組織改革の重点項目のうち1. 介護保険法の改正、地域包括ケアへの対応について、本部として「拠点のNPO法人取得」が必要との認識であったが、地元自治体との関係が密な拠点は、必ずしも新NPO法人取得が必須条件ではない。

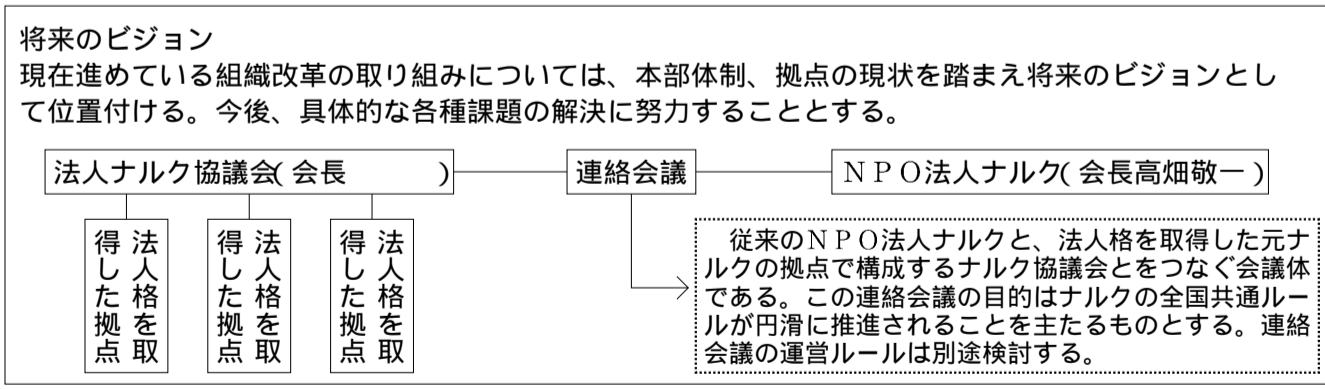
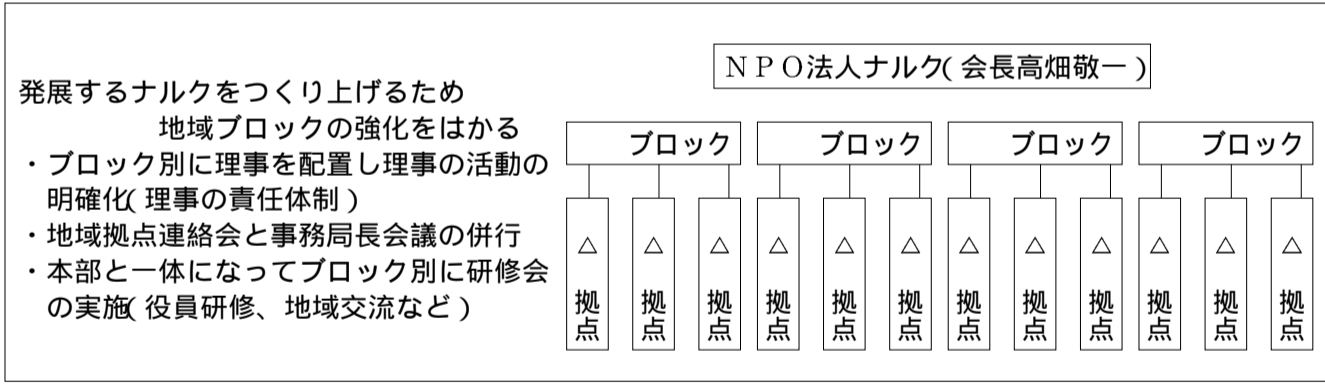
2. 拠点が「新たなNPO法人取得をしなければナルクの長期低落傾向に歯止めがかからない」との意見があったが、「現在でも会員を増やし、時間預託活動を着実に展開している

「現在でも地元で強く認知され、地域に密着した活動を展開している」と、といった意見も多く出された。

3. NPO法人を取った後2年経過すれば「認定NPO法人」を取得する条件の一部が達成できるが、ナルクの現在の活動から見ると公益活動が50%以上を満たすことにならず、条件のすべてを満たすことは困難である。また、たとえ取得しても現下の情勢で容易に「寄付金」を得ることは難しいといつた結論になった。

従って今回の組織改革については、新NPO法人を目指すことに賛成が少なく、当面は今後のビジョンとしてとめおくこととした。

新法人設立の拠点が多くなってくれば、協議会組織を立ち上げ、しかし今回は現状の組織体制を維持することとし、最終的には拠点の判断に任ずることとした。



ナルクの拠点を次々に作っていくこと。拠点を作りたいと名乗り出た方には、必ず事前にお会いし、ご本人の資質や情熱を確かめた。発足後も、うまくスタートできるように、結成準備委員会や設立総会には必ず足を運ぶのを常としていた。それらの人々を私は「一粒の種」と呼び、大切に育ててきた。彼らもそれに応えてくれた。最近、本部も拠点も財政難で、いろいろなか合が少なくなつたのは寂しい限りだ。私も以前のように毎年各地の総会に顔を出すということも少なくなつた。拠点の幹部とひざを交えて話し合いたいのだが、その機会が減つた。しかし拠点の有力幹部は、どんなときも元気を出して皆の前に顔を出していただきた。そしてナルクのために尽くしていただきた。拠点会員の中心には話し相手がおらず寂しがっている人も多い。コミュニケーションの取れていない拠点は「代わりも決めず代表を降りてしまふ」といった問題など出ないはずだ。(高畑敬一)

「喜々快々」

ナルクの拠点を次々に作っていくこと。拠点を作りたいと名乗り出た方には、必ず事前にお会いし、ご本人の資質や情熱を確かめた。発足後も、うまくスタートできるように、結成準備委員会や設立総会には必ず足を運ぶのを常としていた。それらの人々を私は「一粒の種」と呼び、大切に育ててきた。彼らもそれに応えてくれた。最近、本部も拠点も財政難で、いろいろなか合が少なくなつたのは寂しい限りだ。私も以前のように毎年各地の総会に顔を出すということも少なくなつた。拠点の幹部とひざを交えて話し合いたいのだが、その機会が減つた。しかし拠点の有力幹部は、どんなときも元気を出して皆の前に顔を出していただきた。そしてナルクのために尽くしていただきた。拠点会員の中心には話し相手がおらず寂しがっている人も多い。コミュニケーションの取れていない拠点は「代わりも決めず代表を降りてしまふ」といった問題など出ないはずだ。(高畑敬一)

シニアサポーター養成講座 川崎市も総合プランを発表

地域包括ケアシステムの各市町村での取り組みが始まっています。川崎市でもこのたび、介護予防・日常生活支援総合プラン「いきいき長寿プラン」が発表されました。

川崎拠点でも、地域ごとに、どのようになるのかを知るために「日常生活支援の勉強会」を始めました。

当拠点では副代表と事務局長が交代しましたので、そのご挨拶をかね、区役所に講師のお願いに行きました。先方も地域の協力を必要としていましたから、快く引き受けてください。昨年11月に第1回の勉強会を実施しました。参加者はナ



勉強会に講師を迎えようとする地域アマネや地域諸団体との連携が図られていく

シニアサポーター養成講座の内容が理解できましたし、行政が私たちに何を求めているのかを知ることができました。

この勉強会で3人の方がナルクに入会されたのは大きな収穫です。

第16回「全国菜の花サミット in やま」と開催 奈良拠点の20周年記念行事の一環

菜の花サミットとは、菜の花の栽培・採油を通して、環境・教育・観光・エネルギー・食などについて情報交換し、2001年から始まった取り組みです。

奈良拠点は設立20周年記念行事の一環として今年、奈良で開かれた同サミットに実行委員会として参加しました。

イベントは4月9日、10日開催され、9日の桜井文化会館で行われたシンポジウムには700人が参加、全国の菜の花プロジェクト・ネットワーク関係者や菜

菜の花サミットは、菜の花の栽培・採油を通して、環境・教育・観光・エネルギー・食などについて情報交換し、2001年から始まった取り組みです。

奈良拠点は設立20周年記念行事の一環として今年、奈良で開かれた同サミットに実行委員会として参加しました。

イベントは4月9日、10日開催され、9日の桜井文化会館で行われたシンポジウムには700人が参加、全国の菜の花プロジェクト・ネットワーク関係者や菜



小林顧問の出版記念会

小林顧問「日本の心くぼり」出版に寄せて

小林顧問がこのたび、5冊目になる「日本の心くぼり」をそのものがナルクの本の環境作りをするのもコーディネーターの仕事の一つと捉えています。

「ナルクに入会して良かった」と言える環境づくりも喜びであり誇りであると思っています。提供者も利用者との出会いが自分自身の生きがいにつながると思っております。

これからも提供者と利用者との交流の場を積極的に作り、同じナルクの会員であると思っております。

ちょっと聞いて

コーディネーターのつばき



ナルクの助け合い活動で、利用者・活動者双方にとってコーディネーターがいかに重要かを身に染みて感じています。

我が高槻・島本拠点では最近、地域包括支

援センターからの依頼に対しては、センターの担当ケアマネさんの同席をお願いしています。その狙いは、利用者の担当ケアマネさんにナルクの事をしっかり理解していただきたいからです。活動内容に関して一般のヘルパーさんとは違うことを理解して欲しいと思っています。例えば、1時間無理な依頼なら2人体制での支援を提案し、1時間以内で終了できるようにコーディネートするようにしています。

高齢者の生活支援の依頼は半分が傾聴です。ですから「高齢でも何も活動できない」と思っている会員も、話を傾けることで、支援活動に参加できるのです。また点数の利用に興味を持っていただきたいと思います。困った時に「助けて」と言

「源氏物語」など、多くの古典文学の登場人物とその対話の「心くぼり」を研究成果としてまとめたおられます。

この著書の中には日本人の心、文化の素晴らしさが表れていきます。また、「心くぼり」はボランティアの心構えにも通じるところがあり、優れた知識や技術に「こころ」が伴わなければ生きないと述べておられます。

小林顧問がこのたび、5冊目になる「日本の心くぼり」をそのものがナルクの本の環境作りをするのもコーディネーターの仕事の一つと捉えています。

「ナルクに入会して良かった」と言える環境づくりも喜びであり誇りであると思っています。提供者も利用者との出会いが自分自身の生きがいにつながると思っております。

これからも提供者と利用者との交流の場を積極的に作り、同じナルクの会員であると思っております。

介護・介助支援の基
本です。

全国の会員の皆様にもぜひ一読いただきたいと思っております。

申込先
ナルク栃木事務局
電話028-684
10050
FAX028-64
518380
販売価格：千円
(記・高畑敬一)

奈良京
都ことの本
都正則
代表は4
月2日、京
都市下京
都のひと・ま
ち交流館京
都で「震災
から5年目
福島県浪
江町の現状
写真展」と
「紙芝居・
請戸小学校
物語上演会」を開催
した。

写真展は月日が経
つにつ
れ、震災
の記憶が
遠ざかる
ことを危
惧した岡
部代表
が、自ら
撮影した
23枚を展
示。

紙芝居
は、沿岸
から30
0ほどの
の位置に
ある福島

京都拠点の浪江町写真展と 紙芝居・請戸小学校物語

浪江町は、震災直後から被災地にボランティアに入り、その話を聞いた東京のNPO法人「団塊のノーブルスオプリージ」や武蔵野美術大学の学生らが、「浪江町で起きたことを風物化させてはならない」と制作した絵本。

それをナルク京都ことの本が同人の許可を得て、広部公三



紙芝居を熱演する京都拠点のメンバー

事務局長をはじめ運営委員らが紙芝居に仕立てたもの。

請戸小学校は海と山に囲まれた自然豊かな町にあり、住民のほとんどは顔見知りで仲よし。先生や子供たちは町のことや避難場所をよく知っていたことが災難を免れたと考える人も多く、絵本の最後には「あなたにとって大平山はどこですか」と災害の備えを呼び掛けている。

紙芝居終了後、演じ手を務めた広部さんは「自身の住む地域や避難場所の事をよく知っておくことが請戸小学校の教訓になります。災害はいつ自分に降りかかってくるか予測できません。この紙芝居ですっかりと学びたいものです」と締めくくった。

広部さんらはこれまで京都市の児童館での公演経験があり、「依頼があればどこへでも出向きます」と話している。

(取材と文・梅本リユ子)

社会福祉研 修会を開催

ひたち拠点では3月26日、特別養護老人ホームの小咲園で、社会福祉研修会を開催した。出席者は24人(会員外1名含む)だった。

研修の目的は、日立市の高齢者社会福祉の実情を知るためのもので、日ごろ、タオルたたみや食事の配膳作業などでお世話になっている小咲園の事務長、特養生活相談員、ケアマネジャーの3人が講師を担当された。

①介護保険制度と介護保険法の改正について②介護保険の在宅サービス・入所施設についてと小咲園の運営事業についての説明があり、最後に小咲園内の見学を行った。

研修では、特別養護老人施設と居宅介護支援の違いや、老人ホーム介護施設の種類と特別入居金や月額料金及び入居難易度などについて、普段知っていたが、その機会もなかった日立市内の実情について説明があり、大いに参考になった。ちなみに平成27年4月1日現在、特養の入所待機者数は、1年以上の68人を最多に合計で125人おり、施設の不足と共に、今後ますます入所希望者が増加することが予想される。

一層の社会福祉の充実を期待し、有意義な研修会を終えた。

読者の広場

短歌

「大阪北」
桃の花ひ孫と歌うひな祭り
りちらしお寿司で賑わいにけり
朝夕に太陽拝む幸せをヒルの谷間と化せしけるなり

佐藤 喜子

「北神三田」
庭に咲く河津桜に目をやれば春の陽を受け若葉も芽吹く

中田 勝子

息子と嫁のバレンタインの贈り物次々と出し幸せ味わう

葛野須耶子

苗木より育てて四年この春に河津桜は咲き初めに

俳句

「奈良」

雙眼鏡を取りだせり
囀りや
春の日浴びて鳩の海
森々と

隆子

老木の
椿一輪 凜として
照子

菜の花や
琵琶湖見据へて比良の山
全紀

小流れの
淀む芝根に薄氷
幸太郎

春めきて
ほろ苦き味並ぶ膳
坂本美智子

川柳

「函館」

かかって夢の超特急
地下ばかり
くぐって闇の超特急
ななしの

「和歌山」

若いやつ
今来たのにもう行った
作者不詳

菓子ん屋と
菓子職人
れもん

「高槻・島本」樋口正巳
私の故郷は新潟県十日

随想

雪の故郷

町市で、雪が多く降ります。子どものころは雪が多いのは当たり前と思っ

ていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床から

なかなか出られず、親にせかされました。雪下ろ

しは重労働ですが、屋根に上がり、時には機関車

が煙を吐き、汽笛の音が頑張っているようで、じ

つと見えなくなるまで見ていたこともありまし

た。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

ミカンや甘酒を楽しみま

した。「雪まつり」は今年で67回とのことで、各

のあと雪の中を15分も歩

けり
玉林に河津桜の花受けて
米寿のわれを祝う宴あり

夏至 雅峰

「びわこ湖西」

石積越しの馬酔木かな
甲斐 彰

みどり児の
眠る窓辺に山菜莢
青野智翠

桑川八十路
金利で金庫売れてます

「高槻・島本」樋口正巳
私の故郷は新潟県十日

雪の故郷
町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

ミカンや甘酒を楽しみ

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩



国宝・石清水八幡宮前

拠点だより

「箕面」
地域交流「めんぎよ」観覧会に参加
4月2日、箕面

拠点の有志約20人が地域に古くから

伝わる「めんぎよ」

の観覧会に5年続けて参

加した。めんぎよ(免業

・無縁講が詠ったもの)

は「とんど山桜園」での

花見会で、明治時代から

この地域に伝わる子供た



国宝・石清水八幡宮前

け開墾し、平成15年に桜の苗100本を植樹した

(内ナルクは25本)。12

年を経過し、樹高は4m

近くと大きく育ち、今年

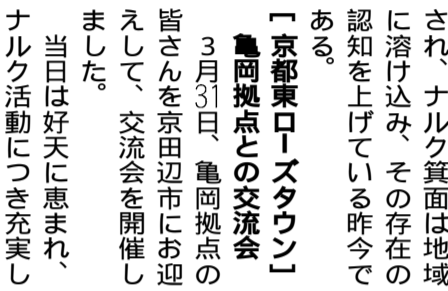
は素晴らしい満開の花を

見るに至った。

当日は前日の雨天がう

そのような快晴に恵ま

れ、絶好の観覧会とな



国宝・石清水八幡宮前

った。地域婦人会の「プ

タ汁」や「ポン菓子」、

ナルク提供の「こども宝

さがし大会」「市立中学

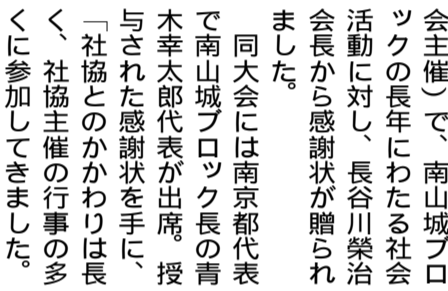
生の茶道研究クラブ生徒

の野点接待」などが開催

され、450人超の参加

者で盛大な会となった。

この地域に住む倉田箕



国宝・石清水八幡宮前

面市長もお子さんと参加

され、ナルク箕面は地域

に溶け込み、その存在の

認知を上げている昨今で

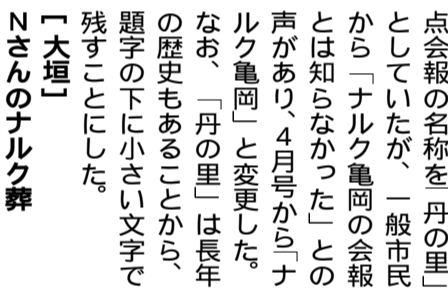
ある。

「京東東コースタウン」

「亀岡拠点との交流会」

3月31日、亀岡拠点の

皆さんを京田辺市にお迎



国宝・石清水八幡宮前

えして、交流会を開催し

ました。

当日は好天に恵まれ、

ナルク活動につき充実し

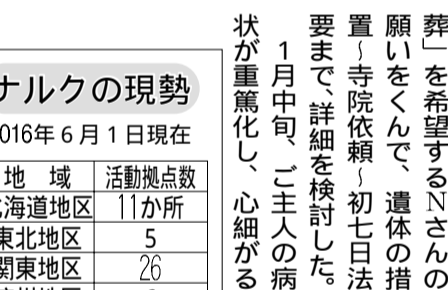
た交流の一時を持つこと

そのことが評価されたの

で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

つていました。最近、帰省するたびにうとうと



国宝・石清水八幡宮前

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

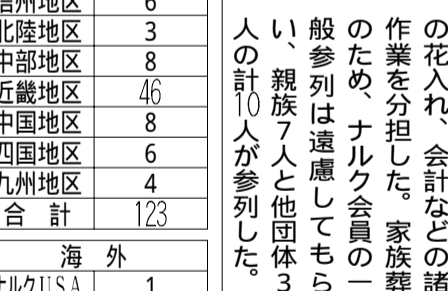
ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

ミカンや甘酒を楽し



国宝・石清水八幡宮前

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

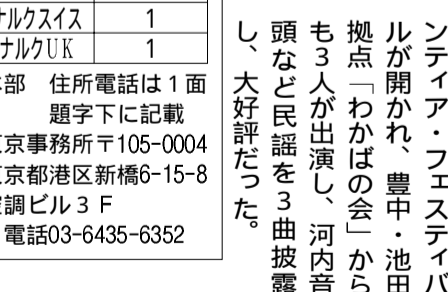
つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている



国宝・石清水八幡宮前

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

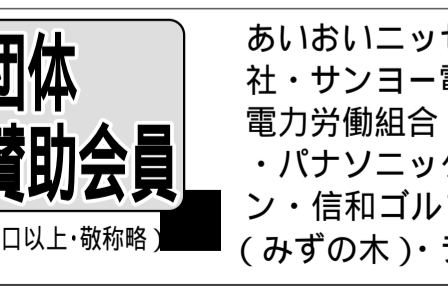
ミカンや甘酒を楽し

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思



国宝・石清水八幡宮前

つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、



国宝・石清水八幡宮前

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

国宝・石清水八幡宮前

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

ミカンや甘酒を楽し

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

国宝・石清水八幡宮前

つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

国宝・石清水八幡宮前

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

国宝・石清水八幡宮前

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

ミカンや甘酒を楽し

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

国宝・石清水八幡宮前

つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

国宝・石清水八幡宮前

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

国宝・石清水八幡宮前

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

ミカンや甘酒を楽し

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思

国宝・石清水八幡宮前

つていました。最近、帰省するたびにうとうと

く感じます。中高生のころは朝の雪踏みは床

からなかなか出られず、親にせかされました。

雪下ろしは重労働ですが、屋根に上がり、時に

は機関車が煙を吐き、汽笛の音が頑張っている

ようで、じつと見えなくなるまで見ていたこと

もありました。行事として「鳥追い」

「ほんやら洞」(ほかでは「かまくら」という)

と言つて、雪で部屋を作り、その中で餅を焼き、

国宝・石清水八幡宮前

ました。「雪まつり」は今年で67回とのことで、

各のあと雪の中を15分も歩

町市で、雪が多く降り

ます。子どものころは雪が多いのは当たり前と思